

地域再生計画 最終評価結果

地域再生計画の名称	自然と調和した生活・産業・観光・交流拠点の有機的な連携によるまちづくり					
地域再生計画の作成主体の名称	佐賀県、唐津市	計画期間	平成27年度～令和3年度			
計画概要	唐津市は、北西から南東にかけて海、台地、居住地、川、山の資源があり、9市町村の合併により1つの中心拠点と8つの生活拠点が形成されている。これらの拠点をつなぐように、観光周遊ルートを設定し、このルート周辺には多数の自然と調和した観光資源が点在している。市道・林道の一体的な整備により、海から山までの各拠点の有機的な連携を実現するとともに、住民の生活環境の改善を図るための污水处理整備を同時に行うことにより、活力ある産業振興や観光交流による地域活性を図る。					
事業の実施状況	道整備交付金事業(道路改良) ・市道計画1.81km(完了区間1.63km) ・林道計画1.00km(完了区間0.32km) 林道の保全対策(保全整備)計画1路線0.08km(完了区間0.04km)					
中間目標の達成状況	内容	H25年度 (基準)	H29年度 (中間)	最終目標値	令和3年度 (最終)	達成状況 (最終)
	目標1 アクセス改善	0箇所	3箇所	8箇所	8箇所	○
	目標2 観光客の増加(人)	7,390,500	7,212,000	7,470,000	2,210,700	×
	計画道路周辺観光拠点の観光客増加箇所数	0箇所	6箇所	6箇所	3箇所	×
	目標3 搬出間伐面積(ha)	117	120	130	131.2	○
	目標4 污水处理人口普及率	85.7%	89.4%	93.3%	91.2%	△
	目標5 農産物販売高(百万円)	14,589	15,936	15,464	15,831	○
	目標6 保全対策推進率	0%	0%	10%	5%	×
	目標7 東部駅周辺人口増加(人)	7,466	7,848	7,966	8,399	○
支援措置によらない独自の取組	(1)唐津市交通ユニバーサルデザイン化事業					
	(2)交通安全合同点検事業					
	(3)森林整備促進事業					
	(4)公共下水道事業(社会資本整備総合交付金分)					
観光客推計値(参考)	唐津市全体観光客推計値 H25:739万人、H29:721万人、R3:221万人 計画道路周辺観光拠点別観光客推計値(3箇所増加、5箇所減少) ・七ツ釜(H25→R3増加)・呼子朝市(H25→R3減少)・唐津城(H25→R3減少)・浜玉水産物直売所(H25→R3減少)・鏡山(H25→R3増加)・七山農産物直売所(H25→R3減少)・七山温泉施設(H25→R3減少)・檜原湿原(H25→R3増加) ⇒中間評価時点では計画道路周辺の観光地8箇所のうち6箇所の集客数は増加傾向ではあったが、新型コロナウイルス感染症のまん延による緊急事態宣言の発出等により人の移動が過去に例がないほどに制限されたことや、宿泊施設や観光文化施設の臨時休業、各種イベントが中止に追い込まれた。また、令和3年8月27日から9月12日まで旧唐津市エリアにおいてまん延防止等重点措置が適用されるなど新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが観光客数に大きく影響しているものと考えられる。					
東部駅周辺地区人口(参考)	人口 ・鏡地区(H25:7.4千人→H29:7.8千人→R3:8.2千人)・浜崎・横田・大江地区(H25:7.5千人→H29:7.9千人→R3:8.4千人) ⇒当初想定していたよりも早いスピードで東部地区の人口が増加している。					
唐津木材市場木材集荷量	H25 21,770m <sup>3</sup> (県産木 54%) H29 22,176m <sup>3</sup> (県産木100%) R3 35,455m <sup>3</sup> (県産木100%) ⇒木材(県産木)の集荷量は増加傾向にある。					
総合評価(事後)	7つの最終目標のうち、4つが達成、3つが未達成であった。 本計画では、観光周遊ルートを整理し、その周辺の道路に絞りこみ事業を進めてきた。平成29年度の間評価までは計画道路周辺の観光客数は概ね増加傾向にあったが、コロナ感染症の影響もあり唐津市全体の交流人口は大きく減少した。ただし、本市の強みである東部地区の人口については、予想よりも早いスピードで増加しており、今後も継続的に事業を進めることで、計画道路周辺の観光交流人口の増加や地域内定住人口の増加、地域内木材利用の増加に資するものと考えられる。					
今後の方針、方策	本地域再生計画においては、市道整備と林道整備の一体的な整備が進んでおり、狭隘な市道整備による安全で快適さの向上と林業振興の効果を発現できたと考える、今後も集中的な整備を継続し、計画道路周辺の観光交流人口の増加、本市の強みである東部地域の定住人口の増加、搬出間伐面積増加による林業の活性化を進めることで地域再生を図りたい。					